

令和5年度
(2023年度)

市議会事務局の取り組み

<部長の方針・考え方>

- ①本会議、委員会等の円滑な議事運営を期する。
- ②市議会の行政監視機能等が十分に発揮できるよう、適正かつ迅速に対応する。
- ③庁内外の各種研修を積極的に活用するなど、人材育成に取り組むことで、事務局全体の機能強化を図る。

<部の構成>

議会総務課
議事調査課

<主な担当事務>

- (1)本会議等の運営に関すること。
- (2)議長・副議長の秘書に関すること。
- (3)政務活動費の交付に関すること。
- (4)本会議等の記録作成に関すること。
- (5)枚方市議会報の発行に関すること。
- (6)議員の調査・研修に関すること。
- (7)議会の政策法務に関すること。

重点的な取り組み：本会議、委員会等の適正な運営

本会議、常任・特別委員会、委員協議会その他の会議の運営が公正・円滑・活発に行われるよう、きめ細かな調整と迅速な準備を進め、議会全体の更なる機能強化と活性化に取り組みます。

具体的には、通年議会を導入している本会議の運営をはじめ、所管事務調査等に取り組む常任委員会活動に積極的に関わるとともに、社会情勢やニーズに応じた効果的な議員研修を実施するため、先進事例や講師の情報などを集約し、議員の意向等を踏まえながら調査・研究を進めます。

なお、4月の市議会議員改選後の議会運営を円滑に進められるよう、全議員を対象とした議員総会のほか、新議員を対象とした説明会や研修会を速やかに実施します。

また、昨年度より編集・校正作業を行っている議会の運営根拠や先例等について掲載した、例規解説集（十訂版）を発行し、改選後の議員等へ配付します。

重点的な取り組み：ICT化の推進

令和2年度からタブレット端末および文書共有会議システムを導入し、試行運用として会議資料や議員配付文書の電子化、その後も段階的に会議資料の電子化を推し進めることで更なるペーパーレス化に取り組み、令和4年3月定例会月議会から本格運用に移行しました。

今年度においては、本格運用の検証に基づく課題整理を行いながら、ペーパーレス化による効率的な会議運営をさらに進めます。

また、令和5年12月に文書共有会議システムの賃貸借契約が満了を迎えるため、これまでの検証を行うとともに、次期システム導入に向けて選定作業に取り組めます。

さらに、昨年度にオンライン委員会を複数回開催したことを踏まえ、今年度においては、さらに円滑な運用が図れるよう、実施内容の課題整理に取り組めます。

また、ポストコロナを見据えた会議運営の在り方を検討していきます。

重点的な取り組み：大規模災害等発生時における活動支援の強化

地震や台風など大規模災害等発生時における、災害対策本部と連携し、議員の災害対策活動を支援するとともに、「市議会災害対策連絡会議」のオンライン形式での実施や、「緊急議会」などにおいて迅速かつ適切な対応ができるよう、枚方市議会業務継続計画（BCP）の発動を前提とした安否確認訓練、災害時避難行動訓練の実施や想定される議案の調査・研究に努め、対応行動の習得を図ります。

重点的な取り組み：市民にわかりやすい情報発信

議会活動に関する情報発信については、現在実施している以下の手法を継続して行います。

- 枚方市議会報、点字議会報及び声の議会報の発行
- 一般質問・代表質問及び議案審議のインターネットによる生中継と、録画映像の配信
- 会議録の発行及びインターネット上における会議録検索システムの運用
- ホームページやツイッターによる情報発信（会議日程、審議結果等）など

令和3年度議会改革懇話会最終報告書の内容を踏まえ、昨年6月よりホームページに議案書や委員協議会等の資料を掲載する取り組みを開始したところですが、今後は、市民ニーズを踏まえた分かりやすい情報発信として、本市の手話通訳等に関する取り組みにも注視しながら、本会議場での字幕表示による情報発信ツールの調査・研究を進めます。

また、議会報については、市民に親しみを持って読んでもらうことを狙いとして、読者からいただいた感想や意見を基に、実現可能なものは積極的に紙面に取り入れており、今後も掲載内容の改革について検討を進めていきます。

昨年度に新企画として取り組んだ市議会議員が出演するプロモーション動画についても、企画内容等の充実を図るなど、より幅広い世代に議会に親んでもらうツールとして作成に取り組んでいきます。